

資 料

資料 1. ことばの教室活動状況調査

資料Ⅱ. 専門性の維持・向上・継承にかかる言語障害教育
関係研究会の各都道府県事務局（代表校）調査

ことばの教室活動状況調査

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

本調査は、本研究所平成 26 年度予備的、準備的研究「地域の状況に応じた「ことばの教室」の活動の実態に関する研究」の一部として実施するものです。

(担当者：牧野泰美、久保山茂樹、小林倫代)

本調査では言語障害を対象とする通級指導教室及び言語障害特別支援学級を「ことばの教室」と呼びます。

ことばの教室は、通級ないしは在籍する子どもへの指導・支援を担う場ですが、その指導・支援の充実、周囲への理解啓発、専門性の向上等に向けて、各教室あるいは近隣の教室との協働により、必要に応じて、様々な活動が行われていると思われま

す。ことばの教室の諸活動は、教室の歴史的経緯、教室体制、地域のシステム、医療・福祉の状況、自治体が発行する研修の状況等ことばの教室を取り巻く状況や、学校・地域におけることばの教室の位置付け等によって異なるものと考えられます。

そこで、本調査は、ことばの教室が行っている活動について、全国の状況・傾向、地域の状況と活動との関係、特徴的な活動について把握することを目的に実施することとしました。得られた結果は、平成 27 年度開始予定の研究における基礎資料として、地域の状況に応じたことばの教室の在り方等の検討に活用し、研究成果報告書においてお知らせする予定です。

担当の先生（言語障害教育担当者等）にご回答いただくにあたってのお願い

- 1 本調査は、上記目的のみに使用され、個々の学校や教室の事例として使用されることはありません。
- 2 調査用紙はことばの教室設置学校（園）1 校（園）につき 1 部を送付しています。
「同一校に複数の教室が設置されている」などの場合は、言語の教室についてのみご回答ください。
- 3 調査項目のうち、活動の実施頻度・回数に関する事項については、年間を通してのおよその頻度・回数をご回答ください。
- 4 記入は、平成 26 年 10 月 1 日現在でお願いします。
返送は、平成 26 年 10 月末日を目安に、同封の返信用封筒にてお願いします。

ご不明の点は、下記までお問い合わせください。

なるべく電子メールかファックスでお願いします。

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 教育研修・事業部 牧野泰美

電話：046-839-6839 Fax：046-839-6907 電子メール：makino@nise.go.jp

I 基本的資料

I-1. 学校（園）の所在地及び学校（園）名をお書きください。

所在地（住所）

学校園名

I-2. 学校における学級・教室の設置状況について該当するものに○印をつけてください。また、担当者数について、該当する欄に人数をお書きください。

設置状況：1. 特別支援学級 2. 通級指導教室 3. 幼児のことばの教室

担当者数：常勤（教員）____名、常勤（教員以外）____名、非常勤____名

I-3. 教室の担当者全員の教職経験年数（平成26年10月1日現在。月数については1年繰り上げてください。）をご記入ください。経験がない場合は「経験なし」に○印をつけてください。

| | 通級指導教室の 担当年数 | 特別支援学級の 担当年数 | 特別支援学校の 担当年数 | 教職経験年数（講 師の年数も含む） |
|-------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------------|
| 担当者 A | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 |
| 担当者 B | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 |
| 担当者 C | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 |
| 担当者 D | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 |
| 担当者 E | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 |
| 担当者 F | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 |
| 担当者 G | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 経験なし | 年 |

* 幼児ことばの教室の担当者は、通級指導教室の欄に担当年数をご記入ください。

I-4. 地域の状況についてお伺いします。該当するものに○印をつけてください。

(1) 同一市区町村内に発達障害の通級指導教室はありますか？

1. ある 2. ない

ある場合は、設置学校数をお教えてください。____校

(2) 市区町村内で言語障害のある幼児は、どこで支援を受けていますか？（複数回答可）

1. 療育センター 2. 通園施設 3. 特別支援学校地域支援（教育相談）室

4. このことばの教室 5. 幼児ことばの教室 6. 医療機関 7. わからない

8. その他（具体的に_____）

(3) 市区町村内で言語障害のある中学生以上の生徒は、どこで支援を受けていますか？（複数回答可）

1. 中学校のこたばの教室
2. 特別支援学校地域支援（教育相談）室
3. このこたばの教室
4. 医療機関
5. 民間の治療機関
6. わからない
7. その他（具体的に ）

(4) 市区町村内の教育機関等への巡回相談は、誰が行っていますか？（複数回答可）

1. 保健師・相談員
2. こたばの教室担当者
3. 特別支援学校地域支援担当
4. していない
5. わからない
6. その他（具体的に ）

I-5. 教室に通っている全ての子ども的人数（継続相談も含む）を障害種別・年代別に下記の表にご記入ください。また、記入した子ども（の人数）のうち、同年齢の子どもと比べて運動面でぎこちないと思われる子ども的人数を（ ）内に、ご記入ください。なお、子どもの実態は、1人について、1障害に該当させて記入してください。

| | 幼 児 | 小学校 低学年 | 小学校 高学年 | 中学生 | 高 校 生 以上 |
|---------|-----|------------|------------|-----|-------------|
| 構音障害 | () | () | () | () | |
| 口蓋裂 | () | () | () | () | |
| 吃音 | () | () | () | () | |
| 言語発達の遅れ | () | () | () | () | |
| その他 | () | () | () | () | |

I-6. 上記の表にカウントされた子どものうち、発達障害と診断や判定のある子ども、診断や判定等はないが発達障害の可能性のある子ども的人数を下記の表にご記入ください。

| | 医師による診断等がある | | | | | 診断等はないが可能性がある | | | | |
|--|-------------|------------|------------|-----|-----------|---------------|------------|------------|-----|-----------|
| | 幼児 | 小学校 低学年 | 小学校 高学年 | 中学生 | 高校生 以上 | 幼児 | 小学校 低学年 | 小学校 高学年 | 中学生 | 高校生 以上 |
| LD | | | | | | | | | | |
| ADHD | | | | | | | | | | |
| 自閉症 | | | | | | | | | | |
| 広汎性 発達障 害（高 機能自 閉症・ア スペ等） | | | | | | | | | | |

II 活動状況について

ことばの教室の諸活動について、貴教室の企画・実施または参加の状況についてお尋ねします。以下の各事項について、現在の貴教室の企画・実施または参加の状況について、該当するものに○印をつけ、下位項目がある場合には、指示にしたがってご回答ください。

A 連携に関する活動について

A-1. 通常の学級（在籍学級あるいは交流学級）訪問

- (1) 自校の場合：1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい
(2) 他校の場合：1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-2. 医療・福祉等、関係機関訪問

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-3. 通常の学級（在籍学級あるいは交流学級）の担任との個別面談

- (1) 自校の場合：1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい
(2) 他校の場合：1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-4. 通常の学級（在籍学級あるいは交流学級）の担任者会（情報交換会、学習会等）

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-5. 地域の関係者による合同学習会・情報交換会（言語聴覚士、保育士、保健師等）

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-6. 設置校内の委員会関係（就学、支援、等）

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-7. 市区町村の委員会関係（就学、支援、等）

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-8. 対象外の年齢の子どもの指導や教育相談（小学校の教室で幼児や中学生を指導する等）

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-9. 市区町村が開催する相談会（子育て相談会等）

1. いつも参加している
2. 要請に応じて参加している
3. 参加していない
4. 開催されていない

A-10. ことばの教室担当者が、特別支援教育コーディネーターをしている

1. している
2. していない
3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-11. 通級児（あるいは在籍児）以外の子どもの指導や支援

1. している
2. していない
3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-12. 通級児（あるいは在籍児）以外の子どもの指導や支援についての相談を受ける

1. している
2. していない
3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

A-13. 行政や管理職に対して、ことばの教室の発展・充実への働きかけをしている

1. している
2. していない
3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

B 研究・研修・専門性向上に関する活動について

各事項において、「1. している」に○印をつけた場合には、実施頻度等についてご回答ください。

B-1-1. 教室内での学習会・事例検討会

1. している
2. していない
3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

B-1-2. 実施頻度について

- a. 1年に1回
- b. 半年に1回
- c. 3～4ヶ月に1回
- d. 2ヶ月に1回
- e. 1ヶ月に1回
- f. 2～3週に1回
- g. 週に1回

B-2-1. 専門家（大学等研究者、医師、言語聴覚士等）を招き、子どもの見立てや指導に関する助言を受ける

1. している
2. していない
3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

B-2-2. 実施頻度について

- a. 1年に1回
- b. 1年に2回
- c. 1年に3回
- d. 1年に4回
- e. 1年に5回以上

B-3-1. 都道府県単位の研究会・研修会への参加（県難聴言語研究会等主催の会。自治体・教育委員会・教育センター等主催のものは除く。）

1. している
2. していない
3. 現在はしていないが今後可能ならしたい
4. 開催されていない

B-3-2. 参加頻度について

- a.1年に1回 b.1年に2回 c.1年に3回 d.1年に4回 e.1年に5回以上

B-4-1. 地区単位（近隣の市区町村合同）の研究会・研修会への参加（地区難聴言語研究会等主催の会。自治体・教育委員会・教育センター等主催のものは除く。）

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい
4. 開催されていない

B-4-2. 参加頻度について

- a.1年に1回 b.1年に2回 c.1年に3回 d.1年に4回 e.1年に5回以上

B-5-1. 市区町村単位の研究会・研修会への参加（市難聴言語研究会等主催の会。自治体・教育委員会・教育センター等主催のものは除く。）

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい
4. 開催されていない

B-5-2. 参加頻度について

- a.1年に1回 b.1年に2回 c.1年に3回 d.1年に4回 e.1年に5回以上

B-6-1. 教室紀要（研究・実践報告）等の作成・配布

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

B-6-2. 配布先について（複数回答可）

1. 市区町村内のことばの教室 2. 地区内（近隣）のことばの教室
3. 都道府県内のことばの教室 4. 子どもの通常の学級（在籍・交流）の担任
5. 子どもの在籍学校長 6. 設置校内職員
7. 市区町村内（地域内）の学校 8. 教育委員会
9. 福祉・医療機関 10. 幼稚園・保育所
11. その他（ ）

C 教室や言語障害の広報・啓発に関する活動について

各事項において、「1. している」に○印をつけた場合には、実施頻度等についてご回答ください。

C-1-1. 教室便りの発行

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

C-1-2. 発行頻度について

- a.1年に1回 b.半年に1回 c.3～4ヶ月に1回 d.2ヶ月に1回
e.1ヶ月に1回 f.1週間に1回 g.その他（ ）

C-1-3. 配布先について（複数回答可）

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 1. 教室保護者 | 2. 子どもの通常の学級（在籍・交流）の担任 |
| 3. 子どもの在籍学校長 | 4. 設置校内職員 |
| 5. 他のことばの教室 | 6. 市区町村内（地域内）の学校 |
| 7. 教育委員会 | 8. 福祉・医療機関 |
| 9. 幼稚園・保育所 | 10. その他（ ） |

C-2-1. 教室要覧・教室案内・パンフレットの作成・配布

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

C-2-2. 配布先について（複数回答可）

- | | |
|------------------------|---------------------------------|
| 1. 市区町村内（地域内）の全教員 | 2. 市区町村内（地域内）の全学校 |
| 3. 市区町村内（地域内）の全児童生徒保護者 | 4. 教室保護者 |
| 5. 子どもの通常の学級（在籍・交流）の担任 | 6. 子どもの在籍学校長 |
| 7. 設置校内職員 | 8. 他のことばの教室 |
| 9. 教育委員会 | 10. 福祉・医療機関 |
| 11. 幼稚園・保育所 | 12. その他（ ） |

C-3. ホームページの作成・管理

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

C-4. 通常の学級等における理解・啓発授業

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

D 保護者に関する活動について

各事項において、「1. している」に○印をつけた場合には、実施回数等についてご回答ください。

D-1-1. 保護者会（「D-2-1」以外。教室からのお知らせ、情報交換等）

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

D-1-2. 実施回数について

- a. 1年に1回 b. 1年に2回 c. 1年に3回 d. 1年に4回以上

D-2-1. 保護者のための学習会・講演会

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

D-2-2. 実施回数について

- a. 1年に1回 b. 1年に2回 c. 1年に3回 d. 1年に4回以上

- D-3-1. 保護者の交流・親睦に関する行事（「D-1-1」「D-2-1」以外）
1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

D-3-2. どんな行事かご記入ください

()

- D-4-1. 保護者と子どもが共に参加する行事

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

D-4-2. どんな行事かご記入ください

()

- D-5. 保護者との個別面談

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

- D-6. 家庭訪問

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい

- D-7-1. 都道府県単位、地区単位、市区町村単位の親の会に関する行事

1. している 2. していない 3. 現在はしていないが今後可能ならしたい
4. 親の会がない

D-7-2. 企画・実施または参加している行事に○印をつけてください

a. 総会・役員会 b. 学習会・講演会 c. 交流会・親睦会

d. 親子行事（※どんな行事かご記入ください→)

E 貴教室（または貴都道府県あるいは地域）において特徴的な活動、力を入れている活動について自由にご回答ください（上記に触れたことと重複しても構いません）。

ご協力ありがとうございました。

資料 II

専門性の維持・向上・継承にかかる言語障害教育関係研究会の
各都道府県事務局（代表校）調査

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

本調査は、本研究所平成27年度専門研究B「「ことばの教室」がインクルーシブ教育システム構築に果たす役割に関する実際的な研究－言語障害教育の専門性の活用－」の一部として実施するものです。

（担当者：牧野泰美・久保山茂樹・小林倫代）

本調査では言語障害を対象とする通級指導教室及び言語障害特別支援学級を「ことばの教室」と呼びます。

ことばの教室は、教員一人で担当している場合も多く、人事異動による教員の入れ替わりが激しい実態、教育センター等の公的機関での研修講座が少ない現状から、専門性の維持・向上・継承が課題となっています。一方で、地域のインクルーシブ教育システム構築に向けて、ことばの教室ならではの専門性を活用しつつ、地域における役割を担うことも期待されています。

そこで、本調査は、ことばの教室担当教員の専門性について、その維持・向上・継承の方策を検討するための資料を収集することを目的に、各都道府県の言語障害教育関係の研究会事務局（代表校）としてのお考えや、情報の提供をお願いするものです。得られた結果は、上記研究において活用し、研究成果報告書においてお知らせする予定です。

以下の質問に、お答えいただけましたら幸いです。

ご回答いただくにあたってのお願い

1. 本調査は、上記の目的のみに活用し、結果、回答の内容について、都道府県が分かる形で公表されることはありません。
2. 返送は、平成27年10月末を目安に、同封の返信用封筒でお願いします。

ご不明の点は、下記までお問い合わせください。
なるべく電子メールかファックスでお願いします。

※電子媒体でのご回答を希望される場合は、下記宛、電子メールにてその旨お知らせください。様式（Word・一太郎）をメール添付にてお送りします。

国立特別支援教育総合研究所 教育支援部 牧野泰美
電話：046-839-6839 Fax.：046-839-6908 電子メール：makino@nise.go.jp

◎都道府県、学校（機関）名をお書きください。

都・道・府・県 学校（機関）名：

◎差し支えなければご記入いただいた先生のお名前をお書きください。

回答者名：

1. 貴都道府県研究会における、研修・講座についてうかがいます。

会員（言語障害教育担当者）の言語障害教育の専門性を高める研修として、どのような研修会や講座を実施しているか、過去3年程度の具体的なテーマ等について、別紙1-1に記載してください。

また、貴都道府県内の各地区（ブロック）の研修について、得ている情報がありましたら、同様に、別紙1-2に記載してください（把握している研修のみで構いません）。

※別紙1-1、1-2に記載してください。

別紙1-1、1-2の内容が記載されていれば、実施要項等の写しをお送りいただいても構いません。

2. 貴研究会が研修を実施するにあたり、内容を決定する方針（ルール）がありますか。あればお書きください。

また、研修内容を決定する際に、留意していることがありましたらお書きください。

3. 貴研究会が実施する研修と、都道府県の教育委員会や教育センターが主催する研修講座とで、内容の調整を行っているか等についてお書きください。

4. 貴研究会の研修を企画する上での課題についてお書きください。

5. 貴研究会として、言語障害教育のどのような知識や情報を担当者が持っていることが大切だと考えますか。

6. 貴研究会として、研修・講座の他、専門性の維持・向上・継承に関して取り組んでいることがありましたらお書きください。

<例> 会員で分担協力して、言語障害の解説書を作る、等

7. 貴研究会において、連携している、相談している、あるいは頼りにしている専門機関、専門家についてお書きください。

8. 貴都道府県内の地区、市区町村、教室等で、専門性の維持・向上・継承に関して、うまく工夫して取り組んでいるところの情報をお持ちでしたらお書きください。

9. ことばの教室ならではの専門性を活用して、地域や校内において行う活動・取組について、貴都道府県内で積極的に取り組んでいる教室の情報をお持ちでしたらお書きください。

ご協力、ありがとうございました

※ 貴研究会の、1年間の研究のまとめ、研修のまとめ、活動のまとめ等がありましたら、差し支えなければお送りいただけましたら幸いです。

別紙 1 - 1

○都道府県全体

| 開催年月 | 講座名・テーマ（もしくは扱った内容等） | 対象（全員、新担当者等） | 研修時間 | 講師（もしくは発表者等） |
|-------|---------------------|--------------|------|--------------|
| 26年5月 | 基礎講座・吃音の基礎 | 新担当者 | 3時間 | 〇〇〇〇氏 |
| | | | | |

| 開催年月 | 講座名・テーマ（もしくは扱った内容等） | 対象（全員、新担当者等） | 研修時間 | 講師（もしくは発表者等） |
|------|---------------------|--------------|------|--------------|
| | | | | |

別紙 1 - 2

○地区（ブロック）

| 開催年月 | 講座名・テーマ（もしくは扱った内容等） | 対象（全員、新担当者等） | 研修時間 | 講師（もしくは発表者等） |
|-------|---------------------|--------------|------|--------------|
| 26年5月 | 基礎講座・吃音の基礎 | 新担当者 | 3時間 | 〇〇〇〇氏 |
| | | | | |

| 開催年月 | 講座名・テーマ（もしくは扱った内容等） | 対象（全員、新担当者等） | 研修時間 | 講師（もしくは発表者等） |
|------|---------------------|--------------|------|--------------|
| | | | | |